

けんぱくものしりシート

じょうもんじん どうぶつ

縄文人と動物



わあ、ちい
小さな土器の中に
ちい
小さな骨がたくさん！



ケンくん ハクちゃん

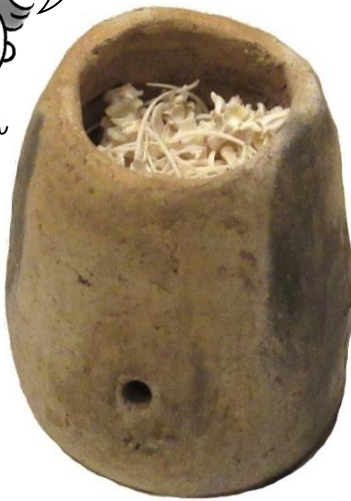
ケンくん、ハクちゃん
こんにちは。



かいせついん
解説員

これは 縄文時代後期 (約
4,500~3,300年前) の遺跡
から見つかった土器で、中
には2匹分のヘビの骨が入
っていたんですよ。

これヘビの
骨なの!?



たんこうどき
単孔土器
の だむらね いかいづかしゆつど
(野田村根井貝塚 出土) はち
鉢

このヘビの骨は背骨と
あばら骨だけで、頭の
骨がなかったの。

おそらく縄文人は
ヘビの頭を除き、
胴体の部分だけ
土器に入れた
ようですね。



ヘビの骨



どうして
土器に
入れたん
だろう？



それは謎なんです。一緒に考えてみよう！
ちなみに、左側の単孔土器(下の
方に1つ穴がある土器)は、お酒
を作るのに使ったのではないかと
考える人もいますよ。



あっ！今のハブ酒
みたいにヘビ酒を
作っていたのかも！



私、ヘビは昔から
神聖な存在だったって
聞いたことがあるよ。

何かの儀式とか、
お祭りに使われたん
じゃないかな？

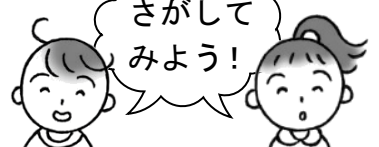


ふたりとも、
良い予想
だね！



縄文時代の遺跡から、他にはどんな
動物の骨や牙などが見つかっているかな？
博物館の展示室を探検してみよう！

さがして
みよう！



食べる



シカの骨



カモシカの骨



ニホンザルの骨



イノシシの骨



ツキノワグマの
あごの骨・歯



ヒキガエルの骨

肉を食べた後は
これらの骨なども、
加工して使いました。

飾る (アクセサリー)

装飾品



イノシシの牙



クマの牙 テンの牙



鳥の骨

使う (道具)

魚を刺す・釣るための



刺突具 (イノシシの骨)



釣り針・銚頭 (シカの角)

貝をはがしたりする
へら (シカの骨)



飼う (家畜)

イヌの骨



イヌは狩りの
ときの大切な
パートナーだったようで、
お墓も見つかっています。

この他、イルカやオットセイ、
サメやマグロなど海の生きもの
の骨も見つかっているんですよ。



縄文時代の人たちは、
いろいろな動物たちと
密接に関わり合いながら
生きていたんだね。



ぼくたちも
自然を大切にして
動物たちと
仲良く
したいね!



参考 『じょうもん発信』 岩手県立博物館 1993年/
『平成31年度企画展示 ひと×いきもの』 東京都埋蔵文化財センター 2019年 他

来月 (3月) の
けんぱくものしりシートは
歴史-22だよ!
おたのしみに!



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷 34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/

※「けんぱくものしりシート」の内容は発行当時のものです。最新情報ではございませんので、あらかじめご了承ください。
※「けんぱくものしりシート」は解説員が執筆しております。